



町村自治

4月 2016 平成 28年

● 発行所 青森県町村会 ● 編集発行人 小笠原 靖介 ● 印刷所 長尾印刷(株)
〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号(年4回発行) TEL 017-723-1331 FAX 017-723-1347
ホームページ <http://www.aomori-chousonkai.jp/> E-mail ack@aomori-chousonkai.jp



北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業！ ～日本一小さい新幹線のまち～

3月26日、多くの方が長年待ち望んだ北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業し、喜びを分かち合いました。

今別町には、男女ペアになって踊る町の伝統芸能「荒馬^{あらま}」や地元で採れたもずくを麺に練り込んだ「もずくうどん」、特産品化を目指している「いまべつ牛」、津軽国定公園「裳月海岸高野崎」など他地域には劣らない観光資源がたくさんあります。

また、奥津軽いまべつ駅前には、奥津軽いまべつ駅と津軽中里駅間を結ぶバスの運行や駅に隣接している道の駅「いまべつ」では、レンタカーの運営など二次交通も整備され、奥津軽いまべつ駅を起点とした周遊を楽しむことができます。

【No. 1210】

〔北海道新幹線 奥津軽いまべつ駅 今別町〕

- 本会定期総会…………… 2
- 自治功労者表彰名簿…………… 4
- 医師不足対策に関する町村長
と県健康福祉部の意見交換会 …… 6
- まちづくりへの挑戦 外ヶ浜町…………… 12
- いまが旬！…………… 14
- 随想 阿部今別町長…………… 18



青森県町村会定期総会

地方創生の推進、地方交付税等の一般財源総額確保など決議

永年の功績を称えて全国・県表彰



定期総会には町村長をはじめ約40人が出席

本会は二月二十三日、青森市のラ・プラス青い森で定期総会を開催し、平成二十八年度事業計画及び予算などを決定したほか、地方創生の推進など十三項目の決議を採択した。また、議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功勞者の表彰を行った。



吉田会長が町村財政基盤の充実強化等を訴える

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など約四十人が出席した。

はじめに吉田会長があいさつし、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの榮譽に対し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。二十八年度の地方財政対策では、地方交付税が景気回復に伴う地方税収の増等により約五百四十六億円減の十六兆七千三億円となったが、地方創生等に伴う歳出特別枠が確保され、新型交付金「地方創生推進交付金」が創設されるなど、一般財源総額は、前年度を千三百七億円上回る六十一兆六千七百九十二億円とされたことは政府が努力・工夫をして頂いたと受け止める。しかしながら、地方の財源不足が恒常的に生じた場合は、交付税の法定率を引き上げるなど、来年度以降地方財政の安定化を図るための措置を講ずるべきと考えている。我々町村長は、これからも力を合わせ、地域の個性を最大限に発揮しながら独自の施策を展開し、住民一人ひとりが「この町や村に住んで良かった」と実感できる町村の実現のために、邁進していこうではないか。」と述べた。

表彰

自治功勞者

表彰では、全国町村会表彰として、自治功勞者の館岡前板柳町長（欠席）を表彰したほか、県町村会表彰として、自治功勞者の森内外ヶ浜町長、浜谷階上町長はじめ、一般職

員八十八名（代表・田舎館村 武田嘉彦氏）に表彰状と記念品を授与した。

最後に、被表彰者を代表して浜谷階上町長が謝辞を述べた。

表彰終了後、来賓の三村知事が祝辞を述べ、また、同じく来賓として出席の澤口県町村議会議長会会長、田中県総務部長、安藤県総務部市町村課長が紹介された。



三村知事が来賓祝辞を述べる



決議文を読み上げる金澤副会長

議事

平成二十八年年度予算を 原案どおり決定

引き続き、吉田会長が議長となつて議事に入り、はじめに、平成二十八年度事業計画

引き続き、吉田会長が議長となつて議事に入り、はじめに、平成二十八年度事業計画

及び予算など議案四件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、金澤副会長が「地方創生を強力に推進すること」など十三項目の決議を朗読し、満場一致で採択した。なお、決議の実行運動の方法については、理事会に一任することとした。

定・自己責任の原則に基づき、地域特性や資源を活かした多様な個性的な地域社会を目指すには、財政基盤の充実・強化が不可欠である。

このため、平成二十八年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村財政基盤の強化など町村が抱える諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を結集しながら積極的に実施する。また、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の規制、会報活動等をこれまで以上に効果的・効率的に実施していく。共済関係八事業については、公有財産の保全、町村職員の生活安定を図る立場から、市町村に対して、加入・継続を積極的に推進し、もつて町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していくものである。

○議案第一号 平成二十八年度青森県町村会事業計画案（抜粋）

町村を取りまく環境は、急速な少子高齢化や人口減少、基幹産業である農林水産業の衰退など、極めて厳しい状況下にある。

こうした中、町村が自己決定・自己責任の原則に基づき、地域特性や資源を活かした多様な個性的な地域社会を目指すには、財政基盤の充実・強化が不可欠である。

このため、平成二十八年度の会務運営は、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村財政基盤の強化など町村が抱える諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を結集しながら積極的に実施する。また、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の規制、会報活動等をこれまで以上に効果的・効率的に実施していく。共済関係八事業については、公有財産の保全、町村職員の生活安定を図る立場から、市町村に対して、加入・継続を積極的に推進し、もつて町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していくものである。

○議案第二号 平成二十八年度青森県町村会会費案

会費総額は、六百四十九万二千元とする。

○議案第三号 平成二十八年度青森県町村会一般会計予算案

収入支出それぞれ二億七千八百八十六万九千円（対前年度比六千円とする）とする。

○議案第四号 平成二十八年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案

経常収支計を、五千三百四十一万六千円とする。

決議（項目抜粋）

- 1 地方創生を強力に推進すること
- 1 「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、歳出特別枠を堅持し、地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 償却資産に係る固定資産税及びゴルフ場利用税を堅持するとともに、車体課税の見直しは、町村財政に減収が生じないよう、代替財源の確保を前提とすること
- 1 TPP協定の影響を受ける農林漁業者が希望をもって経営に取り組めるよう、重要5品目をはじめ農林水産業の強力な振興施策を講じること
- 1 地域の活性化のため、田園回帰の環境を充実させ、農山漁村の振興を図るとともに、都市と農山漁村の共生社会を実現すること
- 1 米政策改革については、経営所得安定対策等の着実な推進により、強い農林水産業を実現するとともに、食の安全・安心の確保を図ること
- 1 東日本大震災からの復興と、農畜水産物等の風評被害対策を強力に推進すること
- 1 経済の活性化を図るため、地域資源を最大限活用した魅力ある産業の創出等、経済・雇用施策を強力に推進すること
- 1 地方分権改革を強力に推進すること
- 1 道州制は導入しないこと
- 1 北海道新幹線開業効果の最大限の獲得及び東北新幹線、航空機等を活用した交流人口の拡大と観光振興を図ること
- 1 防災・減災・老朽化対策を強力に推進するとともに、道路、河川、生活環境等の積極的な整備促進を図ること
- 1 急速な少子高齢化や人口減少に対応した医療・保健・福祉・子育て支援施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること

受賞おめでとうございます

全国町村会表彰

自治功労者（敬称略）

町村長（在職四期以上退任）

北津軽郡板柳町

館岡 一郎

青森県町村会表彰

自治功労者（敬称略）

町村長（在職十年以上）

東津軽郡外ヶ浜町

森内 勇

三戸郡階上町

浜谷 豊美

一般職の職員

（在職二十五年以上）

平内町 大水純子

外ヶ浜町 工藤祐子、白戸昌

俊

蓬田村 中川悟、佐藤一仁、

木村伸一

鯨ヶ沢町 長谷川誠、神直実、

千田秀人、太田良一

深浦町 八木橋淑子、西崎光



浜谷階上町長が被表彰者を代表して謝辞

二、柳原晋、赤石卓美、森山
慎、金沢久史
西目屋村 佐藤るり子、鈴木
由紀子
藤崎町 葛西昭仁
大鰐町 対馬りさ子、工藤美
奈子
田舎館村 武田嘉彦
板柳町 竹内仁、佐藤里佳、
竹内ゆかり、晴山文子、渋谷
春美、安田富美子
鶴田町 櫻井緑
中泊町 阿部弘喜
野辺地町 長根一彦
六戸町 長嶺江利子
おいらせ町 柏崎和紀、向山
恵子
六ヶ所村 高田とめ、豊作和
夫、橋本晃光、吉岡主悦、赤
石良悦、葛西尚人
大間町 熊谷直喜、傳法裕一、
金澤秀人、菊池良一
東通村 越善専一郎、三國正
人、鉄炮直人
三戸町 北村孝幸、澤田敦、
葛西誠、中村恵美子、佐藤美
佐子
五戸町 川村稔、服部幸子、
橋向美智代、向山勇一、三浦
睦子、相内真由美、旭岡康子、
赤坂真弓
田子町 三田牧子、日澤和彦
南部町 岩間由紀子、藤嶋聡
子、西塚章、久保佳輝、下井
田耕一、久保榮、工藤直人、
北上隆広、菅谷信也、下井田



県町村会表彰の右から浜谷階上町長、森内外ヶ浜町長、田舎館村の武田氏

一志
中部上北広域事業組合 町屋
勝章、高田秋悦、寺澤正樹、
蛭沢知子、小笠原香子
北部上北広域事務組合 佐々
木康昭、大関俊彦、熊谷治人、
福岡幸男、上野多輝男、加藤
秀樹、木村克巳、糸川裕、太
田貴子、佐々木義明
鯨ヶ沢地区消防事務組合 長
谷川礼明

平成28年度事業計画などを審議

第1回理事会・生協支部委員会

本会は二月二十三日の定期

総会に先立ち、二月五日、青森市のラ・プラス青い森で、平成二十八年第一回理事会を開催した。出席者は、吉田会長をはじめ役員町村長十二人。

理事会では、平成二十八年度事業計画などの議案五件及び、報告一件並びに、定期総

会次第などの協議事項六件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定し、事業計画及び予算案は二月二十三日開催の本会定期総会に提出することとした。

議案及び報告並びに協議事項は次のとおり。

議案

○議案第一号 平成二十八年度青森県町村会事業計画案

○議案第二号 平成二十八年度青森県町村会会費案

○議案第三号 平成二十八年度青森県町村会一般会計予算案

○議案第四号 平成二十八年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案

○議案第五号 青森県町村会処務規程の一部を改正する規程案

○報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求める件（平成二十七年専決第一号）青森県町村会個人情報保護に関する規程）

○協議事項一 平成二十八年第一回青森県町村会定期総会次第案並びに案件

○協議事項二 決議案

○協議事項三 平成二十九年年度予算編成及び施策に関する要望運動案

○協議事項四 町村長の健康



管理研修案

○協議事項五 北東北三県町村長中央研修会・交流会の実施

○協議事項六 平成二十八年度町村長行政調査研修案

第一回生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、

市町村長会議提言事項を決定

第2回理事会

本会は三月二十四日、青森市の県共同ビルで平成二十八年第二回理事会を開催した。出席者は、吉田会長をはじめ役員町村長十三人。

理事会では、議案一件及び平成二十八年度市町村長会議（町村の部）における提言事項について協議し、原案どおり決定した。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律に伴う新教育長の給料月額について、及び特別区全国連携プロジェクトの取り組みについて事務局より説明した。

全国町村職員生活協同組合県支部委員会を開催し、議案一件を原案どおり承認、決定し、本会定期総会に報告することとした。

議案は次のとおり。

議案

○議案第一号 平成二十八年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案

議案及び協議事項は次のとおり。

○議案第一号 青森県町村会常務理事及び職員の給与の特例に関する規程の一部を改正する規程案

○協議事項一 平成二十八年度市町村長会議（町村の部）について 同会議で、次の十二項目を提言することを決定した。

- 1 地方創生の推進について
- 2 町村財政基盤の充実強化について
- 3 東日本大震災からの復興

について

- 4 電子行政の推進について
- 5 海岸漂着物の廃棄処理対策について

- 6 医療・保健・福祉・子育て支援対策の推進について
- 7 雇用及び移住・定住者促進施策の推進について

- 8 農林水産業の振興について

- 9 社会基盤の整備促進等について

- 10 観光客誘客対策の強化について

- 11 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について

- 12 教育施策等の推進について



医師不足対策に関する町村長と 県健康福祉部の意見交換会

三月二十四日、青森市のラ・プラス青い森で県健康福祉部の主催により、医師不足対策に関する町村長と県健康福祉部の意見交換会が開催された。はじめに、一戸県健康福祉部部長があいさつし「医師不足や地域偏在、診療科偏在の問題の解消に向けて県でも取り組みを進めてきた。県の医師不足対策の概要を説明させていただいた後、皆様の意見をいただきたい。」と述べた。



意見交換会には町村長等36名が参加

一戸県健康福祉部からの説明では、地域医療の確保を目的としたこれまでの取り組みと課題や、平成二十八年度から医師修学資金貸与者の町村部医療機関勤務を厳格化する等の



意見を述べる吉田会長



一戸県健康福祉部長のあいさつ

新たな取り組み、地域医療構想（案）の概要等について説明があった。

その後の意見交換では、町村長から「町村部医療機関で勤務する二年間の義務期間は、九年間の義務期間の前半なのか後半なのか。大病院あるいは学生に対し、医師修学資金は各市町村が負担していることや修学資金の意義等を伝える機会はあるのか。義務期間の勤務先については、県の意向なのか、医師本人の意向なのか。」等の質問があった。質問に対し、一戸部長は「町村部医療機関で勤務する義務期間の二年間については、地域の要請を考慮した配置を考えていきたい。学生には、年二回、知事自らが出向いて講義を行うなど、積極的に取り組んでいる。また、私も非常勤講師をしており、同様に取り組んでいる。義務期間の勤務先については、地域医療支援センターでこの病院で勤務するかプランを立てている。その際、対象となる病院のリストを参考に個人の希望を聞きながら決定する。」等と回答した。

道路除排雪経費の 財政支援等に関する 要望活動を実施

県と合同で総務省・
国土交通省に

本会は、二月十日、東京都内で、県と合同により、特別交付税の配分に関して総務省へ、除排雪経費の確保に関して国土交通省へ要望した。これは、町村の除排雪費用

作業にかかる費用が増大していることを受け、国の財政支援を求め実施したもの。要望には、本会の吉田会長や三村知事が参加し、総務省の櫻井総務事務次官、佐藤総務審議官、安田自治財政局長、内藤大臣官房審議官、前田自治財政局財政課長、国土交通省の津島国土交通大臣政務官、徳山国土交通事務次官、五十嵐道路局官房審議官に面談のうえ、要望活動を行った。また、財務省、県選出国会議員には、除排雪関連経費の財政支援について要望書を提出した。

平成27年度道路除排雪経費に対する 特別交付税の配分に関する要望

今冬は、12月下旬に冬型の気圧配置が続き、雪の降る日が多く、1月中旬には県内全域が暴風雪や大雪となり、停電や建物の破損等の被害が発生しました。

また、平年を上回る積雪量を記録している地域もあり、道路交通障害等、住民生活に大きな支障を来しております。

このような状況に対応するため、本県町村は、通勤・通学路などの生活道路の除排雪等、住民生活の安全・安心の確保、及び地域経済活動のために全力を挙げて取り組んでおります。

しかし、増大する除排雪経費のため、補正予算を編成し対応している町村もあり、今後、本格的な降雪期を迎え、除排雪経費の更なる追加など多額の財政支出が見込まれます。

つきましては、本県町村の現状及び厳しい財政状況をご賢察のうえ、平成27年度の道路除排雪経費に対する特別交付税の配分について、特段の御配慮をお願いします。

平成28年度予算など決定

総合事務組合議会定例会

県市町村総合事務組合は、二月二十三日、青森市のラ・プラス青い森で平成二十八年度第一回議会定例会を開催した。出席者は、吉田管理者をはじめ、議員等七市町村長。

定例会では、吉田管理者が平成二十八年度予算など、十三件の議案と一件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり承認、決定した。

○**議案第三号** 平成二十七年 度青森県市町村総合事務組合一般会計補正予算（補正第三号）案Ⅱ平成二十七年 度青森県市町村総合事務組合一般会計補正予算（補正第三号）は、歳入歳出予算総額に、歳入歳出それぞれ、七千六百七十四千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ九億二千三百五十六万三千円とする。

議案
○**議案第一号** 平成二十八年度青森県市町村総合事務組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算総額を、歳入歳出それぞれ八億六千八百七十二万九千円（対前年度比二千五百八十八万八千円、三・一％増）とする。

○**議案第四号** 平成二十七年 度青森県市町村総合事務組合市町村税等滞納整理特別会計予算（補正第四号）案Ⅱ平成二十七年 度青森県市町村総合事務組合市町村税等滞納整理特別会計予算（補正第四号）は、歳入歳出予算の内訳において、一千万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ八千七百三十三万九千円とする。

○**議案第二号** 平成二十八年度青森県市町村総合事務組合市町村税等滞納整理特別会計予算案Ⅱ歳入歳出予算総額を、歳入歳出それぞれ八千七十九万一千円（対前年度比一千九十二万八千円、十五・六％増）とする。

○**議案第五号** 青森県市町村総合事務組合事務局等設置条例の一部を改正する条例案Ⅱ組合を取り巻く諸情勢に対応するため、組織形態を再編し効率的に運用するため、提案

するもの。
○**議案第六号** 青森県市町村税滞納整理機構行政不服審査会条例案Ⅱ行政不服審査法（平成二十六年法律第六十八号）第八十一条第一項の規定により審査会を設置するため、青森県市町村税滞納整理機構行政不服審査会条例を提案するもの。

○**議案第七号** 青森県市町村総合事務組合情報公開条例の一部を改正する条例案Ⅱ行政不服審査法（平成二十六年法律第六十八号）が平成二十八年四月一日に施行することに伴い、当組合も所要の改正を行う必要が生じたため、提案するもの。

○**議案第八号** 青森県市町村総合事務組合個人情報保護条例の一部を改正する条例案Ⅱ行政不服審査法（平成二十六年法律第六十八号）が平成二十八年四月一日に施行することに伴い、当組合も所要の改正を行う必要が生じたため、提案するもの。



○**議案第九号** 青森県市町村総合事務組合行政不服審査法等の規定による提出資料等の写し用の交付に係る手数料に関する条例案Ⅱ行政不服審査法（平成二十六年法律第六十八号）が平成二十八年四月一日に施行することに伴い、当組合も所要の改正を行う必要が生じたため、提案するもの。

○**議案第十号** 青森県市町村総合事務組合特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案Ⅱ青森県市町村税滞納整理機構行政不服審査会条例の制定に伴い、青森県市町村総合事務組合特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するため、提案するもの。

○**議案第十一号** 青森県市町村等非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案Ⅱ地方公務員災害補償法施行令の一部を改正する政令（平成二十八政令

第十五号）が平成二十八年四月一日に施行することに伴い、当組合も所要の改正を行う必要が生じたため、提案するもの。

○**議案第十二号** 青森県自治会館行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例案Ⅱ本組合が入居する青森県共同ビルの借地料について、青森県が地代の見直しにより契約を改定したことに伴い、本組合の行政財産である事務室の使用料を改正するため提案するもの。

○**議案第十三号** 監査委員の選任について同意を求めるとの件Ⅱ議員のうちから選任した監査委員の任期が平成二十七年十一月三十日をもって満了したので、新たに議員のうちから監査委員を選任いたしました。同意を得るため提案するもの。

○**報告第一号** 専決処分した事項の報告及び承認を求めるとの件Ⅱ行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律が平成二十五年五月三十一日公布、平成二十七年十月五日施行したことに伴い、本組合も特定個人情報に関する所要の改正を行う必要が生じたが、議会を開く暇がないため、専決処分したため。

○**報告第二号** 専決処分した事項の報告及び承認を求めるとの件Ⅱ行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用等に関する法律が平成二十五年五月三十一日公布、平成二十七年十月五日施行したことに伴い、本組合も特定個人情報に関する所要の改正を行う必要が生じたが、議会を開く暇がないため、専決処分したため。

町村職員採用試験

平成27年度実施状況と

平成28年度実施について

平成27年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の平成二十七年実施状況は下表のとおり。

実施日は、日本人事試験研究センターが定めた全国統一試験の七月二十六日（日）、九月二十日（日）の二回。また、その他の期日に個別試験を実施した。

平成28年度実施申込受付中

平成二十八年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務共済課【電話017（723）1331】にお問い合わせ願います。

平成二十八年度町村職員採用統一試験の概要

○試験期日・職種

・第一回（上級試験）

平成二十八年七月二十四日（日）

・第二回（中・初級試験）

平成二十八年九月十八日（日）

○場所

第一、二回とも青森市内

○実施申込方法

各団体に既にご案内している「平成二十八年度町村職員採用試験実施申込書」を、四月二十八日（木）までに本会へ送付願います。

○その他留意事項等

・受験者数の報告

第一回（上級試験）は六月十七日（金）、第二回（中・初級試験）は八月十日（水）までに、受験者名簿を本会へ提出願います。

・公募方法

受験者公募の手続きは各団体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公募をお願いいたします。受験票は各団体が作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・試験当日の実施運営

例年、本会職員と試験実施

団体担当者が連携し対応しておりますので、ご協力願います。

・担当者事前説明会

試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を七月上旬に予定しています。

・経費負担

試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの料金金を申込人数に応じて負担いたします。

詳細は改めてご案内します。

試験問題は、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の平成二十七年実施状況は下表のとおり。

実施日は、日本人事試験研究センターが定めた全国統一試験の七月二十六日（日）、九月二十日（日）の二回。また、その他の期日に個別試験を実施した。

平成28年度実施申込受付中

平成27年度町村職員採用試験申込者数

（単位：人）

No.	団体名	職 種											合計	
		上 級			中 級					初 級				社会人
		行政	土木	保健師	一般	社会福祉	保健師	栄養士	看護師	一般	消防	土木		
1	平内町	9	3	2						12	2		28	
2	今別町	1								8	4		13	
3	外ヶ浜町									21			21	
4	蓬田村									5			5	
5	鯉ヶ沢町	9								12			21	
6	深浦町									14			14	
7	藤崎町	49					10	11					70	
8	大鰐町	22	4			1		7		6			40	
9	田舎館村						2			32			34	
10	板柳町	11			2		2		7	7			29	
11	鶴田町	7	1		2					8		2	20	
12	中泊町	8						7					15	
13	野辺地町	6							4				10	
14	七戸町				1			5	33		2		40	
15	六戸町	19					3					10	33	
16	横浜町							2		8			10	
17	東北町	22							12				34	
18	おいらせ町	38		2	11	2			3	19			75	
19	六ヶ所村	22								9			31	
20	大間町		1							5			6	
21	東通村	5	1										6	
22	風間浦村	1								3			4	
23	佐井村									8			8	
24	三戸町	11								8		6	25	
25	五戸町	18				6	3			10		14	51	
26	田子町	5								2		6	13	
27	南部町	13								14			27	
28	階上町	23		3								2	28	
29	新郷村	2			4				1	2			9	
30	中北部広域事業組合										18		18	
31	鯉ヶ沢地区消防事務組合										5		5	
32	北上部広域事務組合									9	22		31	
	合計	301	10	7	20	9	20	32	11	271	51	6	36	774

平成28年県広報コンクール 広報紙総合の部

「広報ひろさき」が

二年連続特選

本会に事務局を置く県広報協会は、一月二十五日、青森市の県共同ビルで平成二十八年県広報コンクール審査を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙十九点、写真三十五点、映像一点の応募があった。六名の審査委員による厳正

な審査の結果、広報紙総合の部で弘前市の「広報ひろさき」（平成27年2月1日号）が二年連続で特選、むつ市の「広報むつ」（平成27年6月25日号）が準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦する。入賞作品は次のとおり。

特選 弘前市「広報ひろさき」



準特選 むつ市「広報むつ」



平成28年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門（総合の部）

特選 弘前市 「広報ひろさき」 平成27年2月1日号※
準特選 むつ市 「広報むつ」 平成27年6月25日号※

広報紙部門（市部）

入選 青森市 「広報あおもり」 平成27年10月15日号
佳作 十和田市 「広報とわだ」 平成27年6月1日号
奨励賞 三沢市 「広報みさわ」 平成27年8月号
奨励賞 つがる市 「広報つがる」 平成27年10月号

広報紙部門（町村部）

入選 外ヶ浜町 「広報そとがはま」 平成27年4月号
佳作 おいらせ町 「広報おいらせ」 平成27年6月1日号
佳作 三戸町 「広報さんのへ」 平成27年6月号
奨励賞 深浦町 「広報ふかうら」 平成27年8月14日号
奨励賞 鶴田町 「広報つるた」 平成27年6月17日号

広報写真部門（一枚写真の部）

入選 つがる市 「広報つがる」 平成27年6月号※
佳作 青森市 「広報あおもり」 平成27年10月15日号
奨励賞 十和田市 「広報とわだ」 平成27年5月1日号
奨励賞 むつ市 「広報むつ」 平成27年6月25日号

広報写真部門（組み写真の部）

入選 弘前市 「広報ひろさき」 平成27年9月1日号※
佳作 鶴田町 「広報つるた」 平成27年4月17日号
奨励賞 十和田市 「広報とわだ」 平成27年10月1日号
奨励賞 中泊町 「広報なかどまり」 平成27年8月10日号

映像部門

入選 青森市 「青森」400年へのメッセージ
～ふるさと青森市の未来への歩み～※

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品

審査委員

所属	職名	氏名
東奥日報社	編集局整理部長	白取心平
デーリー東北新聞社	青森支社長	遠山良雄
陸奥新報社	青森支社長	端田雅文
青森放送	報道局次長	藤田晴雄
青森テレビ	報道制作局長	菊谷浩志
青森朝日放送	常務取締役報道制作局長	森純一

大島衆議院議長を表敬訪問

本会は、二月一日、衆議院議長公邸で大島衆議院議長への表敬訪問を行った。出席者は吉田会長をはじめ、二十七

町村長。衆議院議長公邸では、大島議長との歓談、衆議院議長公邸の見学等を行った。



平成28年度町村会関係主な行事予定

会議等の名称	日時	場所
町村総務課長会議	5月24日(火)	アップルパレス青森
理事会	5月26日(木) 13時	町村会役員室
広報広聴協議会 理事会	5月26日(木)	町村会会議室
全国山村過疎地域振興連盟県支部 理事会	5月26日(木)	町村会役員室
発電関係市町村全国協議会県支部 総会	5月26日(木)	町村会会議室
総務厚生委員会・産業経済委員会	6月1日(水) 10時30分	ラ・プラス青い森
市町村長会議(町村の部)	6月1日(水) 13時30分	ラ・プラス青い森
平成29年度重点施策提案に係る国会議員説明会	6月12日(日)	青森国際ホテル
監査会	7月中旬予定	町村会役員室
理事会	8月上旬予定	町村会役員室
町村長健康管理研修	8月23日(火)～25日(木) 1日目 定期総会 15時 2日目 健康管理研修 3日目 半日ドック	鱒ヶ沢町 グランメール山海荘 青森市・総合健診センター
町村長行政調査研修	9月20日(火)～29日(木)	北欧
理事会	10月予定	町村会役員室
法令外負担金等委員会	11月予定	町村会役員室
県選出国議員との懇談会	11月15日(火) 17時	東京都・ホテルニューオータニ
全国町村長大会	11月16日(水) 正午	東京都・NHKホール
北東北三県町村長中央研修会 (秋田県・岩手県町村会との合同開催)	11月16日(水) 15時30分	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央交流会 (秋田県・岩手県町村会との合同開催)	11月16日(水) 17時15分	東京都・ホテルニューオータニ

「町村の魅力発信事業助成事業」を

ぜひ活用ください

「町村の魅力発信事業助成事業」は、平成28年度もこれまでと同様の趣旨で実施しますので、積極的なご活用をお願いします。

■主な助成内容

- 1 助成金額…1町村当たり、平成28年4月1日から平成29年2月28日までに実施する事業に対し、200万円を限度に実費助成
- 2 助成対象経費
謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会会長が必要と認める経費
- 3 助成対象事業例
 - ・ イベント等開催に係る観光振興等に係る事業
 - ・ 地域活性化に貢献できる人材育成・確保事業
 - ・ 産業振興上必要な事業
 - ・ 地域資源の発掘、活用による商品開発、需要拡大事業

■申請期限

平成28年5月31日（火）までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。

○問合せ先

町村の魅力発信事業助成事業に関しては、本会業務共済課（電話…017-723-1331）までお問い合わせ願います。

青森県町村長等名簿

平成28年4月1日現在
町村数30町村(22町8村)

町村		区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町		船橋茂久	S24.7.17	2	31.11.14	山田光昭
	今別町		阿部義治	S25.9.18	1	29.10.12	
	外ヶ浜町		森内勇	S13.3.2	3	29.4.23	沼田謙市
	蓬田村		久慈修一	S25.8.1	1	29.11.8	
西郡	鱒ヶ沢町		東條昭彦	S16.4.15	2	29.12.26	
	深浦町		吉田満	S28.9.9	2	28.12.20	菊池雄司
中郡	西目屋村		関和典	S42.2.24	3	30.2.25	
南郡	藤崎町		平田博幸	S32.6.2	2	31.11.19	五十嵐晋
	大鰐町		山田年伸	S27.3.11	2	30.7.21	
	田舎館村		鈴木孝雄	S12.2.10	3	28.11.17	葛西幸男
北郡	板柳町		成田誠	S28.3.4	1	31.4.29	村上孝夫
	鶴田町		相川正光	S28.10.29	1	30.8.20	
	中泊町		小野俊逸	S17.7.29	5	29.4.23	秋元良一
上北郡	野辺地町		中谷純逸	S24.8.16	2	31.10.26	松山英樹
	七戸町		小又勉	S24.1.2	3	29.4.23	似鳥和彦
	六戸町		吉田豊	S25.3.28	7	32.1.27	保土澤正教
	横浜町		野坂充	S26.1.31	3	28.12.11	新渡喜広
	東北町		斗賀壽一	S19.7.2	2	29.4.23	蛭名敏治
	おいらせ町		三村正太郎	S24.10.7	5	30.3.25	
下北郡	六ヶ所村		戸田衛	S22.1.28	1	30.7.6	橋本晋
	大間町		金澤満春	S25.3.9	3	29.1.18	菊池武利
	東通村		越善靖夫	S17.1.7	5	29.4.12	林春美
	風間浦村		飯田浩一	S35.5.5	2	31.4.25	
	佐井村		樋口秀視	S26.4.10	1	30.4.26	
三戸郡	三戸町		竹原義人	S25.11.28	2	28.12.15	藤村正彦
	五戸町		三浦正名	S29.1.1	5	31.6.26	鳥谷部禮三郎
	田子町		山本晴美	S39.4.10	2	32.1.14	原昌徳
	南部町		工藤祐直	S30.5.22	5	30.2.11	坂本勝二
	階上町		浜谷豊美	S31.8.23	3	29.12.23	沼沢範雄
新郷村		須藤良美	S15.3.29	3	29.5.28	横田孝夫	



竜飛風力発電所の風車支柱上部の航空障害灯からは日本海が一望できる

地域の特性を活かした

新エネルギー事業を展開

「自然の力」で暮らす町へ

津軽半島の最北端、津軽海峡に突き出た龍飛岬は、観光名所として有名ですが、環境にやさしい自然エネルギーの拠点でもあります。龍飛岬の風を活かした風力発電や青函トンネルの排水を活かした水力発電等、外ヶ浜町のエネルギー事業について紹介します。

「新エネルギー」の導入

「新エネルギー」とは、自然の力を利用するなど、今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効活用することで、石油代替エネルギーを製造、発生、利用すること等のうち、経済性の面での制約から普及が進展しておらず、かつ石油代替エネルギーの促進に特に寄与するものとして、国が積極的に導入促進を図るべき政策的支援対象と位置づけられています。

の地域資源である強風を生かし、町の第三セクターである(株)津軽半島エコエネが事業主体となり、平成二十三年、自然環境と共生する、竜飛風力発電所が完成しました。

町では「豊かな自然環境と共生するまちづくり」と「地域特性を活かした産業が躍動するまちづくり」を掲げ、「龍飛地区の風をエネルギーに活かさないか」というきっかけから、平成二十二年二月、「外ヶ浜町地域新エネルギービジョン」を策定し、様々な事業を展開しています。

龍飛岬での新エネルギーへの挑戦

(1) 風力発電

年間平均風速が約10m/S以上という「風の岬・龍飛」

かつては、四種類十一基の風力発電機が動いていましたが、発電機の大型化、効率化、技術の進歩などにより、予想年間発電量は現在の三基だけで、外ヶ浜町全体で使用される電気量以上の発電が見込まれるほどとなっています。

新エネルギー事業の推進はこれから、ますます高まり、電力需要や温室効果ガス等の影響による地球温暖化などの環境問題を解決するために重要であるほか、地域の活性化や産業振興、環境教育の充実につながっていく可能性を大

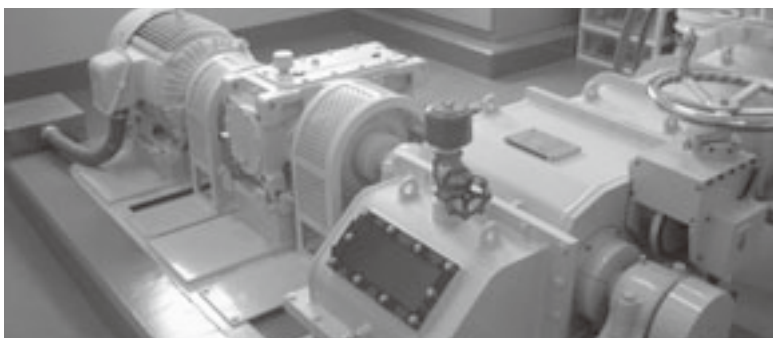
新エネルギーの種類



▲外ヶ浜町の風力発電機



▲龍飛地区小水力発電所



▲見学窓からは水車発電機が見学可能

いに秘めています。(株)津軽半島エコエネでは、青森県内の地元企業としては初めて大規模商業発電事業に参入しており、竜飛風力発電所に今導入した風力発電機の検証を進め、規模拡大を視野に入れながら取り組みを行っています。

(2) 小水力発電

昭和六十三年に開通した青函トンネルからは、毎分十六トンの水が湧き出ていて、J

R北海道が地下百八十八メートルから地上へ汲み上げ排水を行っていました。湧水には海水と淡水があり、海水はヒラメの養殖等に使用されていましたが、これまで淡水は廃棄されてきました。町では廃棄されていた淡水を活用するため、龍飛地区小水力発電所を建設し、新エネルギーの新たな創出に取り組んでいます。発電された電力は、周辺にある龍飛崎シーサイドパークの

バンガローやケビンハウスの電力として自家消費されています。

今後の取り組み

自然のエネルギーを利用した「新エネルギー」は無尽蔵でクリーンという大きなメリットを持っていますが、エネルギー密度が低く、天候など自然条件に左右され安定性に欠けるなどの問題点も抱えています。また、現在、県が主導ではありますが、弘前大学と連携し、平館海峡で海洋エネルギーの調査など新しい取り組みを行っています。

町では、風力、小水力を含め、潮流、太陽光、太陽熱、バイオマス熱利用等、多種多様な発電方法を活用し、それぞれの特徴を活かした分散型電源の普及促進を目指し、地域の活性化につなげていきます。

※外ヶ浜町の『新エネルギー』に関するお問い合わせは、『外ヶ浜町役場住民課(0174-311-1222)』までお願いします。



問い合わせ先 平内町観光協会事務局
(平内町役場水産商工観光課内)
TEL 017-755-2118

行楽シーズンの春に、平内町ならではの自然の魅力や、名産品を取り入れたイベント。ツバキ自生北限地帯である椿山でのウォーキングツアー、大人気で恒例となったホタテ拾いやわんこほたて世界選手権など、大人も子供も楽しめる内容となっております。

- 期間：5月3日(火・祝)～5月29日(日)
- ※イベント開催日は、5月3日(火・祝)、5月15日(日)、5月29日(日)を予定
- 会場：夜越山森林公園、夏泊半島椿山・大島

第3回ひらな이의春まつり

いまが旬!
ひらないまち
平内町

東津軽郡



問い合わせ先 深浦町役場観光課
TEL 0173-74-4412

町では、緑の「ビジター」、青の「リピーター」、赤の「ファン」と全3ステージある観光パスポートを4月から発行しています。このパスポートは、町内飲食店や観光施設を利用するとスタンプを押してもらえ、ステージごとに一定のスタンプ数をためると、地元産品や宿泊券が当たる抽選に応募できます。

パスポートをゲットしてみなさんも深浦ファンになりませんか。

東北地方初!すきです♥
ふかうらパスポート発行

いまが旬!
ふかうらいまち
深浦町

西津軽郡



問い合わせ先 藤崎町役場企画財政課
TEL 0172-75-3111

藤崎町の特産品を使ったオリジナルメニューによる食の祭典「ふじワングランプリ2016」を開催します。

様々なジャンルのメニューを一度に堪能できるほか、会場特設ステージではご当地キャラクターショーやパフォーマンスステージを行いますので、皆様ぜひご来場ください。

- 日時：6月26日(日)
- 午前9時30分～午後2時(予定)

ふじワングランプリ
2016

いまが旬!
ふじなまいまち
藤崎町

南津軽郡



問い合わせ先 ふるさとセンター総合案内所
TEL 0172-72-1500

今年もミニトマトの収穫体験が始まりました。収穫できるのは赤や黄色、オレンジなど食味や色もさまざまな6品種。1人200円で約200グラムの収穫が可能です。実施は6月末まで。

※生育状況や作業上、体験できない日もありますので、事前にお問い合わせください。

- 時間：9時～12時、13時～16時

ふるさとセンター
ミニトマト収穫体験

いまが旬!
いたやなきいまち
板柳町

北津軽郡

いまが旬!
東北町

とほくまほ

上北郡

千本桜が咲き誇る
小川原湖公園でお花見を

「東北町桜まつり」が4月29日（金）から5月8日（日）まで、小川原湖公園で開催されます。

「へら鮎釣り大会」や伝統漁法「地引き網引き」の無料体験、小川原湖の新鮮な魚介類の味覚を味わうことができる試食会など、楽しいイベント盛りだくさんでお待ちしておりますので、ゴールデンウィークは千本桜が咲き誇る小川原湖公園でお花見をお楽しみください。

- 野だて：4月29日（金）
- 花切川へら鮎釣り全国大会：5月4日（水）
- 地引き網引き無料体験：5月5日（木）
- 小川原湖の新鮮な味覚試食会：5月5日（木）



問い合わせ先 東北町役場商工観光課
TEL 0179-56-4148

いまが旬!
佐井村

せいのむら

下北郡

佐井村の海の幸が
堪能できるイベント情報

佐井村では、海の幸に関するイベントが多く開催されます。5月のゴールデンウィークではヤリイカを使った「いか祭り」。6月中旬には恒例となった「佐井村うに祭り」。7月上旬には県の魚をメインとした「ひらめ祭り」が開催します。どのイベントも採れたて新鮮なものを提供いたします。是非とも足を運んでみてください。



問い合わせ先 佐井村観光協会
TEL 0175-38-4515

いまが旬!
田子町

たつこまち

三戸郡

「田子ガーリックステーキごはん」デビューー!

田子町では、「食」を観光資源のひとつと捉え、地元食材にこだわった新・ご当地グルメ「田子ガーリックステーキごはん」を開発しました。にんにく生産地ならではの「ニンニクフルコースランチ」です。3月29日にデビュー。町内3つの飲食店で提供しております。田子町を丸ごと味わっていただけます。是非ご賞味ください。

- 提供店舗 ガーリックセンター、御食事処なくい、勇鮨



問い合わせ先 田子ニンニク料理推進協議会
TEL 0179-20-7114

いまが旬!
新郷村

しんきょうむら

三戸郡

チャレンジデー2016

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベント。新郷村は2012年から4年連続で参加し、日本一を3度勝ち取っています。今年も「やるなら日本一！」を目指し奮起しておりますので、みなさんも5月25日に新郷村にお越しになり、15分間以上継続して運動やスポーツをしてください。

- 日時：5月25日（水）
- 会場：新郷村役場周辺ほか



問い合わせ先 新郷村役場総務課役場企画グループ
TEL 0178-78-2111

● 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

● 共済掛金と共済金額

共済金額	用途及び車種区分	共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A型	対人賠償 無制限	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
	対物賠償 1,000万円				
	自損事故傷害共済 1,500万円				
	限定搭乗者 500万円				
B型	対人賠償 無制限	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円
	対物賠償 無制限				
	自損事故傷害共済 1,500万円				
	限定搭乗者 1,000万円				

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済(保険)に加入できます
 ○町村生協の自動車共済で過去3年間無事故で、新たに車両共済(保険)に加入する場合、新規契約と比較して

42%割引（9等級）からスタート！

- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 保険料分割払（12回）も選択可能です。
- ロードサービスも無料でサービス！

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部
 青森県町村会業務共済課 TEL 017 (723) 1331

自動車共済

万一の事故に備えを！



青森県町村会等事務分担

(平成28年4月1日現在)

青森県町村会

常務理事兼
事務局長

小笠原 靖介

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 次長・総務課長事務取扱 土岐 昌二 副 参 事 原 子 美 香 子 総 括 主 幹 上 原 俊 一 郎 主 事 阿 部 布 由 子 臨 時 事 務 手 高 橋 結 衣 臨 時 事 務 手 石 塚 久 恵	人事、規約・諸規程の改廃、 予算、関係諸団体等との連絡 調整、各業務の統合調整、総 会その他の諸会議、総務厚生 委員会、顧問弁護士、表彰、 軽自動車税の移動、文書の収 受・発送、各団体の予算経理、 現金・有価証券の出納・保管、 決算、物品の出納・保管、他 の所管に属しないこと
業務共済課 課 長 吉 本 知 己 (業務関係) 主 幹 大 坂 謙 主 事 鈴 木 雅 俊 主 事 嶋 田 裕 哉 (共済関係) 総 括 副 参 事 小 松 田 真 副 参 事 澤 田 博 美 主 事 柴 田 遼 臨 時 事 務 手 白 鳥 玲	(業務関係) 事業計画、町村行財政の調査、 産業経済委員会、法令外負担 金の規制、要望・請願、町村 長等・市町村職員の研修会、 会報「あおもり町村自治」、 町村職員採用試験、町村の振 興発展に関する調査・研究、 県広報広聴協議会、全国山村 過疎地域振興連盟支部、発 電関係市町村全国協議会県支 部 (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員

あべ
阿部

よし はる
義治

今別町長



随想

第29話

プロフィール

町副町長、町助役。
現在1期目、65歳。



奥津軽いまべつ駅（平成28年3月26日開業）

「みんな活き活き」

健康長寿のまち

を目指して

今別町は津軽半島先端部に位置し、津軽海峡に面し四季を通して緑が美しく、豊かな自然に恵まれた美しい町です。昨年は、今別村と一本木村が昭和三十年に合併し、今別町が誕生して六十年、さらに昭和六十三年三月に津軽海峡線が開通し、本州側の出入口の町として平成二年に北海道側の知内町と友好町締結から二十五周年という節目の年を迎えました。

先月三月二十六日には長年

待ち望んだ北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業し、この千載一遇のチャンスを生かし「日本一小さな新幹線のまち」をPRしながら、新たな町づくりに力を注ぐこととされています。奥津軽いまべつ駅の開業は、本県としては、八戸駅の開業、新青森、七戸十和田駅の開業に次いで、三回目の開業となり、周辺地域が連携し津軽半島地域の美しい自然、海の幸、全国に知られた、龍飛岬や津軽鉄道、文豪太宰治など豊富に点在している地域資源を生かした新たな観光ルートの開発など、広域観光への取組も推進して行きたいと考えています。さらに、新幹線の利用促進を図るため、高校生への通学費用の助成と町民の皆さんへの新幹線利用した場合の一部助成も本年度より実施いたしました。

当町は高齢化率が県下一高



モンゴルフェンシング協会との基本合意書調印式（平成27年10月19日）

な町、福祉の町として、昨年三月に「健康長寿のまちづくり」宣言をし、健康セミナー等の開催や、ウォーキングマップ・看板を作成及び設置、健康ポイントカードを設け、健康づくり事業に参加し十ポイントになると記念品をもらえる事業、健康を呼びかける「健やか隊員」育成プログラムを実施し、子どもからお年寄りまで生き生きと暮らせる町をめざし、町民の健康づくりに取り組んでいます。

また、今別町は青森県のフェンシング競技発祥の地として、強豪選手を多く輩出し、「フェンシングの町いまべつ」として知られています。二〇二〇年東京オリンピック、

パラリンピックへ向けたモンゴルフェンシングチームの事前合宿地として昨年十月に合意調印を交わし、先月三月二十日から三月三十日まで選手団を受け入れ、早速交流を深め合い、二〇二〇年のオリンピックに向けスタートしました。その他の取組としては、昨年旧襲月（ほろぎき）中学校を活用した宿泊施設「海峽の家ほろぎき」の炭酸カルシウム人工温泉と集會室を改築し、町内外のひとの交流の場作りをしています。

昨年度、今別町総合計画、今別町まち・ひと・しごと創生総合戦略等により町政運営の指針となる基本計画を策定しました。この計画では、社会福祉の向上、基幹産業の振興、教育文化の振興、広域連携と新たな振興策、財政の健全運営の五項目の施策を掲げています。ご紹介してきました、各種事業の他、これら重点施策に取り組み、町民一人一人が「住んでいてよかった」と思える町、そして、安心・安全の住みよい、元気で活力のある町づくりに努めてまいります。